

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

JINUSHIビジネスを通じて安全な不動産金融商品を創り出し、世界の人々の資産を守る一翼を担う。

親会社株主に帰属する
100億円以上

運用資産規模
5,000億円以上

ROE
15%程度

自己資本比率
30%程度

2 中長期の経営戦略

1. JINUSHIビジネスの拡大

テナント業種の多様化、事業エリアの拡大、JINUSHIリースバック提案を積極推進し、安定的な長期収益を確保。

3. 財務基盤の強化

メガバンク中心の強固なバンクフォーメーション構築、借入期間長期化、金融市場変動への備えを実施。

2. 地主リートの成長

国内唯一の底地特化型私募リートとして先行者利益を活用し、運用資産規模5,000億円の早期達成を目指す。

4. 底地マーケット開拓

2000年創業来、底地マーケットを創出・拡大。2009年0.87兆円から2024年7.24兆円へ拡大、2027年10.4兆円への市場拡大を予測。

3 対処すべき課題

① 経営戦略の達成推進

- ・ 現・中計で定めた売上高1,000億円、親会社株主に帰属する当期純利益70億円の達成
- ・ 地主リート運用資産規模3,000億円から5,000億円への拡大加速
- ・ 新・中計2026-2028の達成に向けた組織横断的な取組

② 資金調達環境への対応

- ・ 金融政策正常化に伴う金利上昇への注視と対応
- ・ 2025年12月末現在、コミットメントライン契約12,500百万円、借入枠設定契約32,250百万円を確保
- ・ 不動産市況悪化時の安定的な賃貸収益確保体制の構築

③ ESGリスク・機会への対応

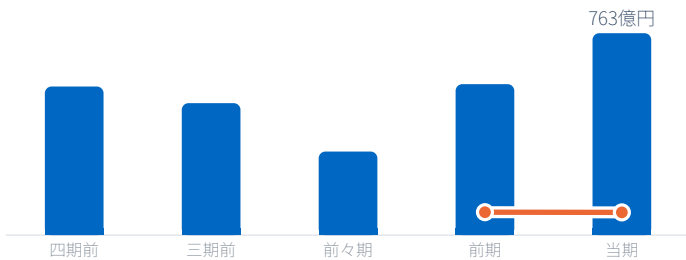
- ・ マテリアリティに基づく重点課題への継続的な対処
- ・ 中長期的な株主価値向上への ESG配慮の組み込み

面接で使えるポイント

- ・ 底地マーケットが2009年の0.87兆円から2024年の7.24兆円に拡大し…
- ・ 土地のみに投資し建物を所有しないJINUSHIビジネスは自然災害やマーケットボラティリティに強く…
- ・ 2025年12月期に親会社株主に帰属する当期純利益7,369百万円を達成し…

証券コード 3252

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
763億円営業利益率
11.3%財務健康度
57点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 65.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,750万円

不動産業内 4位/130社

平均年齢
38.7歳

不動産業内 72位/131社

平均勤続
4.4年

不動産業内 93位/131社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 2026年12月期第1四半期決算を公表 | 地主株式会社のプ

